



2020年2月7日

各位

会社名 玉井商船株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐野 展雄  
 (東証第二部・コード9127)  
 問合せ先 常務取締役 木原 豊  
 (TEL 03-5439-0260)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2019年11月8日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,300	△90	△160	△60	△31円08銭
今回修正予想 (B)	5,060	△220	△290	△150	△77円70銭
増減額 (B-A)	△240	△130	△130	△90	
増減率 (%)	△4.5%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	5,488	304	201	888	460円06銭

## 修正の理由

前回予想時の自社外航船舶と外航用船船舶の第3四半期中に航海完了が見込まれた航海数に対して、貨物積に掛かる日数が伸び第3四半期末までに航海が完了せず第4四半期にずれ込んだ航海が1航海あったため、実績の航海完了数が1航海少なくなったこと及び第4四半期の配船計画、やや停滞気味の運賃市況等を見直したことによって、前回発表予想時(2019年11月8日)に計画した通期航海数より2航海の減少が予想されることなどから、連結売上高は、前回の業績予想を240百万円下回る5,060百万円となる見込みです。営業費用については、今回の航海数の減少に伴う費用減少も見込んでおります。また、第4四半期以降の為替想定レートは108円と変更しておりません。この結果、連結営業損益は、前回予想比130百万円減少の営業損失220百万円、連結経常損益は、前回予想比130百万円減少の経常損失290百万円、親会社株主に帰属する当期純損益は、前回予想比90百万円減少の当期純損失150百万円を予想しております。

	前回予想 (2019年11月8日公表)	今回予想 (2020年2月7日公表)
期中平均為替レート	1US\$=108円	1US\$=108円
予想燃料油価格	US\$473/MT	US\$530/MT

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年11月8日発表)	円 銭 —				
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	—	—	40.00	40.00

修正の理由

当社の剰余金の配当の基本方針としましては、変動の激しい海運市況に備えるため、また、将来の事業展開に備えるため、財務体質強化をはかる必要があると考えており、そのための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施すべきと認識しております。

2020年3月期の配当予想については、経営環境の先行きが不透明であったことから未定とさせていただいておりましたが、これらの結果を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。

今後も早期の収益回復、復配に向けまして経営努力を重ねて参ります。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上